

# 令和3年度 学校評価書

延岡市立港小学校

## I 学校教育目標

確かな学力、豊かな心、健康な体をもつ港っ子の育成  
～一人一人のよさを最大限に発揮できる～

## II 学校経営ビジョン

職員が一丸となり、「一人一人」のよさや可能性を伸ばす指導・支援に取り組み、家庭・地域と連携した教育を推進することを通して、信頼され愛される学校を目指す。

## III ビジョン達成のための重点目標

「一人一人のよさと可能性（夢）、礼儀正しさ（心）、地域のよさ（誇）」

- 1 確かな学力の定着
- 2 豊かな心の育成
- 3 健康な体づくり
- 4 学校・家庭・地域が一体となって取り組む教育活動の推進
- 5 安心安全な学校づくり
- 6 働き方改善による教育の質の向上

## IV 目標達成のための実践事項と評価計画（5段階評価、％は「はい」「だいたい」と答えた割合） （↑↓は昨年度との比較）

目標	実践事項と評価項目・数値目標	結果	自己評価	考察・分析、改善策	学校評価	学校関係者コメント
確かな学力の向上	<b>1 わかる授業・考える授業</b> ① 主題研究による複式授業の充実 ② タブレット活用による個に応じた指導の充実 ・学力検査・市 CRT 検査 全国・県・市の平均 （個人得点＋5点） ・保護者や児童の授業満足度 90%以上	（授業満足度） （分かりやすい授業） 児童 94% ↓ 職員 100% 保護者 100% 地域 75% ↑	4	・複式学級におけるタブレットを活用した学習指導の在り方について研修を重ね、わかる授業・考える授業に取り組むことができた。 ・全国の学力調査、CRT 検査の結果、ほぼどの学年も平均を上回ることができた。 ・授業や学校行事等で、自分の考えを表現する場を多く設定したことで、自分の言葉で説明したり、感想を述べたりする力が少しずつ身についてきた。	4	・教育機器（主にタブレット）の活用やメソッドタイム等への取組の効果が見られていることは大いに評価できる。 ・タブレットを使っているときの姿勢が気になった。目が近いように思えた。
	<b>2 基本的な学習規律の徹底</b> ① 学習姿勢の指導 ・学習姿勢の定着率90%以上 ② 家庭学習の充実 ・家庭学習の実施率90%以上	（姿勢） 定着率 児童 53% ↓ 職員 83% （家庭学習） 児童 75% 職員 83% ↑ 保護者 85% ↑	3	・視力が落ちてきている児童が増えているので、タブレット等の使用の際の姿勢や明るさなど学校だけでなく家庭でも気を付けるように声かけと見届けをお願いする。 ・机、椅子の調整とともに月目標で「姿勢の強化」に力を入れ、常時指導の充実を図っていく。 ・家庭学習の定着については放課後教室だけではなく、家庭でも学習に対して保護者のチェックや看取りの協力をお願いしてきた。生活リズムとの関連が大きいので、今後も家庭への啓発・連携を図りたい。	3	・視力の低下や学習姿勢などの課題については引き続き指導をお願いする。 ・自分の考えの表現として、放課後教室でお世話になる方へのお礼の言葉や文章が上手にできる。
	<b>3 メソッドタイム及びスキルタイムの充実</b> ① 集中力の向上 ② 児童の意欲の持続化を図るための工夫	メソッド テスト 音読暗唱 100% ↑ 百マス	4	・朝の時間に音読・百マス計算を取り入れたことで授業への入りが集中できるようになった。音読は全児童が暗唱でき、百マス計算3分以内 68%、全漢字練習 77%と昨年度よりも	4	

確かな学力の向上	《陰山メソッドテスト》10月実施	計算 68%↑ 全漢字 77%↑		伸びが見られた。着実に基礎的な計算・漢字力が定着してきているので、次年度も効果的な指導の徹底を図りたい。	
	<b>4 学習環境の整備充実</b> ① <u>読書活動の推進</u> （図書館環境の整備） ・年間読書量 低（200冊）中（100冊） 高（80冊） ② 作品の積極的応募 ・作品展への応募（入選、紙面掲載）20点以上 ③ 教室環境の整備	（読書習慣） 児童 59% 職員 83%↑ 保護者 31%↓	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間読書量の目標達成に向け、ふくろう号を有効活用したり、図書委員会による本の貸出促進を行ったりしたが、家庭での読書時間が十分でないという課題が見えてきた。</li> <li>時季に合わせた本の紹介や児童の読書内容の把握など一人一人に合った読書指導を行っていく。</li> <li>各学級での作品応募は行えたが、多くの児童が入賞することはできなかった。新聞掲載や県作品展での入賞など児童の自信にはつながった。</li> </ul>	3
豊かな心の育成	<b>1 基本的な生活習慣の定着</b> ① <u>あいさつの指導</u> ・地域でも進んであいさつができる80%以上 ② 整理整頓の指導 ・くつ、ぞうきん、かさがいつも整っている90%以上 ③ 静の場（清掃時 移動時 自習時 給食片付け時 全校集合時の無言）の徹底 ・静の場で無言が守られている100% ④ 学校のきまりの意識付け	（あいさつ） 児童 82%↓ 職員 100%↑ 保護者 92%↓ 地域 94%↓ （静の場） 児童 82%↓ 職員 100%↑ 児童 82%↓ 職員 100%↑	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内でのあいさつについては、昨年度よりも声が大きくなり、気持ちのよいあいさつができるようになってきた。しかし、地域では自分から進んでできていなかったり、元気のよいあいさつができていなかったりしたようであるので、家庭とも連携して引き続き指導をしていきたい。</li> <li>整理整頓や無言の場は、給食時や清掃時は昨年度よりもできていた。ただ移動時や教師不在時は、無言で行うための継続的な指導が必要である。</li> </ul>	4
	<b>2 思いやりの心づくり・望ましい人間関係づくり</b> ① 人権教育の推進 ② 特別支援教育の推進 ③ 異学年交流の推進（朝のボランティア、昼遊びの遊び、全校での取組） ・困っている人を助けたい、人に親切にしたい100% ・学校に行くのを楽しみにしている100%	（親切） 児童 65%↓ 職員 100% （楽しみ） 児童 94% 職員 100% 保護者 100%	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会や給食当番、学校行事等において、6年生が中心となって、下学年のお世話をしたり教え合ったりすることができた。また、昼休みには全員で遊ぶ日が増え、集団としての関わりが多くなった。</li> <li>低学年では自分の気持ちをうまく伝えられずに友だちとトラブルになることが多いので、教育相談等を充実させ、児童の困り感や悩みを解決することで、学校に行くことが楽しみになるようによりよい人間関係づくりに努めていきたい。</li> </ul>	4
	<b>3 キャリア教育の推進</b> ① キャリア・パスポートの活用 ・場に応じた礼儀をもって行動することができる90%以上 ② 日本文化の伝承・体験（放課後子ども教室との連携） ③ 「見る 知る 感動する 体験する」場の設定 ・自分の夢や目標をもっている90%以上	（礼儀） 児童 82%↓ 職員 100%↑ （夢等をもつ） 児童 71%↑	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事ごとにおける目標と反省をキャリア・パスポートに記入していき、活動の足跡を重ねていく。</li> <li>放課後子ども教室では、貴重な日本文化の体験（日本舞踊・茶道・俳句・折り紙）をすることができた。</li> <li>友内川カヌー体験やグラウンドゴルフ大会、キャリア教育に関する講話（警察・獣医・消費者生活センター・助産師）を聞いて、様々な仕事の特徴ややりがいを知る機会となっ</li> </ul>	4

・登下校時の子どもたちの様子は明るく元気で喜ばしい。  
 ・あいさつに元気が出てきて気持ちよくなった。特に、下校時はよい。中学生もよくなっている。  
 ・地区の方々には大きな声であいさつはできている。  
 ・港小の子どもたちは、とてもやさしい心を持っている。  
 ・キャリア教育に関する講話として港小の卒業生の声もよいと思う。

	<p><b>4 明るい環境づくり</b></p> <p>① 花いっぱい ② 歌声響く ③ 絵が映える（計画的な児童作品掲示と鑑賞） ④ ゴミゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常時子どもの作品が大切に掲示されている 100%</li> <li>・ ゴミが一つも落ちていない 100%</li> </ul>	(ゴミゼロ) 児童 73% ↓ 職員 86% ↑ 保護者 100% ↑	3	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランターや花壇の整備、教室や廊下等の掲示物の定期的な張り替えなど計画的に行うことができた。</li> <li>・ 少人数での清掃だが、隔週で清掃場所を替え、2週間に一度は清掃できるようにした。朝のボランティア活動など時間を見つけて率先して行う等、これからもゴミゼロの意識を高めたい。</li> </ul>	4	
健康な体づくり	<p><b>1 体力づくりの推進</b></p> <p>① 体力向上プランの共通実践 ② パワーアップタイムの充実 ③ 外遊びの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新体力テストで、個人到達目標達成 100%</li> </ul>	(体力) 児童 82% ↓ 職員 100% ↑ 保護者 92% ↑	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮崎県の課題である握力については常時保健室前で測定できるようにした。また、体育の授業以外で行事と関連付けながら、パワーアップタイム（持久走・なわとび）や昼休みのみんなで遊ぶ日の充実を図った。</li> <li>・ 体力テストの個人到達目標をほぼクリアし、A判定の児童が増え、全体的に体力が向上した。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍にあっても、みんな元気よく過ごしているように見える。</li> <li>・ 昼休みも校長先生、諸先生方が入り、ボール遊びをされていてとてもよい。</li> </ul>
	<p><b>2 生活リズムの確立</b></p> <p>① 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進 ② ゲーム・携帯電話ルールづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早寝・早起き・朝ごはんやテレビ・ゲームの視聴時間等、規則正しい生活が身に付いている。80%</li> </ul>	(早寝・早起き) 児童 94% ↓ (朝ごはん) 児童 94% ↓ (テレビ・ゲーム) 児童 88% ↓ (生活リズム) 保護者 85% ↓	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 早寝・早起き・朝ごはんについては、大半の児童ができているが、登校時の集合時刻に間に合わず、車で送ってもらう児童がいるので、引き続き声かけを行っていく。</li> <li>・ 家庭生活において、ゲームや配信動画等の長時間視聴、友達との通信ゲームなど児童だけでなく、保護者への啓発も図っていく。（学校保健委員会の充実）</li> </ul>	3	
	<p><b>3 食育指導の推進</b></p> <p>① 給食指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好き嫌いをしないで、食べることができる 90%以上</li> </ul> <p>② 食事のマナーの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事のマナーを守って食べることができる 100%</li> </ul>	(好き嫌い) 児童 100% (マナー) 児童 82% ↑	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好き嫌いがある児童がいるものの、全員が完食を目指し、頑張って食べる姿が見られる。また、ほとんどの児童が時間内に食べ終わることができている。</li> <li>・ 箸の持ち方や食べる姿勢など今後も指導が必要である。コロナ対策として取り組んできた結果、食べながらしゃべらないが守れるようになった。</li> </ul>	4	
	<p><b>4 家庭への啓発</b></p> <p>① 学校保健委員会の充実 ② 家庭の健康への意識向上（歯の健康）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯治療率 90%以上</li> </ul>	治療率 (R1) 74% (R2) 55.6% (R3) 77%	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校保健委員会では、歯の健康について学校歯科医より講話をしていただいた。むし歯治療率は77%で昨年度よりもアップしたが、昨年度に続き、未治療の児童がいる。むし歯に対する家庭の意識の差が大きく、今後も保護者への啓発を行っていきたい。</li> </ul>	3	
家庭・地域との連携	<p><b>1 命を大切にする教育活動の充実</b></p> <p>① 交通安全指導の徹底 ② 避難訓練の計画的実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通のきまりを守り、けがや事故に遭わないように気をつけている 100%</li> </ul>	(交通安全) 児童 100% 職員 100% 保護者 100% 地域 100%	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旭興自動車学校の方に講師をしていただき交通教室を実施した。それぞれの集団登校班が交通の決まりを守り安全に登下校できた。</li> <li>・ 本年度は、火災、地震（津波）不審者対応、土砂災害教室と非常時の避難訓練は計画通り実施できた。</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横断歩道がないところもきちんと渡っている。</li> <li>・ 登下校が低学年だけになるときの対応について考慮してほしい。</li> </ul>
	<p><b>2 いじめのない学校づくり</b></p> <p>① いじめについて考える場の設定 ② 教育相談の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめのない学級づくりに取り組んでいる 100%</li> </ul>	(いじめ等) 児童 100% ↑ 職員 100% 保護者 100% ↑	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低学年において、自分の感情をうまくコントロールできなかったり、相手の気持ちを考えられない行動を取ったりすることがあったので、全職員で連携しながら、小さなトラブルの段階で解決できるよう</li> </ul>	5	

家庭・地域との連携		(教育相談) 児童 100% 職員 100% 保護者 100%↑		に、常に危機意識をもって対応した。児童のみならず、保護者との面談も実施するなどいじめ防止に努めた。	
	3 危機管理意識をもった施設管理や諸対応 ① 活用できる危機管理マニュアルの整備 ② 定期的、日常的な安全点検 ・危機管理マニュアル、防災マニュアルの見直し、改善 100%	(安全) 保護者 85%	3	・コロナ対策に関するマニュアルを再確認し、学校としての対応の仕方や職員の役割について共通理解することができた。 ・定期的な安全点検を実施し、学校で修繕可能な箇所はすぐに修繕した。また、市教育委員会には、常時危険な場所、破損箇所について報告を行い、修繕に努めた。危機管理マニュアル、防災マニュアルは避難訓練の提案・実施を通して見直しを行うことはできた。	4
	4 確実な情報共有 ① 報告、連絡、相談の徹底 ② 保護者との連携 ・常時、保護者と何らかの連絡をとっている 100%	(保護者との連携) 児童 77%↓ 職員 100% 保護者 100% 保護者 100% 92%↑	4	・学校便りや学級通信、連絡メール、職員玄関掲示物、ホームページ等を通して、常に情報提供を行った。 ・連絡帳や電話、家庭訪問等での連絡を適宜行い、保護者との情報共有を行っている。	4
安心安全な学校づくり	1 地域の人材・素材を生かした教育活動の推進 ① 教育環境をいかした取組の充実(梅林、野外教室、夢の冒険小屋地域人材、学校行事、学校支援ボランティア) ② 学校地区合同行事での取組の充実 ・地区と連携した行事や地区の行事に積極的に参加している 100% ・学校支援ボランティアとの連携による教育活動を展開している 100%	(参加) 児童 71% 職員 50%↑ 保護者 100%↑ 85%↓ 地域 100%↑	3	・梅ちぎりや寒肥、除草活動を通して緑化保全活動に取り組み、自然を守っていこうとする態度を育てることができた。 ・学校支援ボランティアの方々との例年通りの交流活動はできなかったが、グラウンドゴルフ大会やマラソン大会など地域の方々へ児童の頑張りを見ていただくことはできた。	4
	2 ふるさと教育の推進 ① 地域文化の伝承、体験活動の取組 ② 「子どもたちに伝えたいこと」の取組(公民館登校・港わんぱく太鼓・子どもたちに伝えたいこと) ・延岡や港小学校を好きである 100%	(郷土愛) 児童 94%↓	4	・公民館登校では、水尻地区に向き、指人形づくりを教えてもらい貴重な活動を体験させてもらうことができた。 ・運動会や学習発表会において、雲海太鼓の平野さんの指導のもと、太鼓の演奏を披露することができた。来年度は、児童数の減少に伴い、低学年から取り組んだ。	4
	3 幼保小中連携教育の充実 ① 東海地区学力向上プロジェクト内容の取組 ② 東海小・浦城小交流学习の充実 ③ 幼保小による会議の充実 ・プロジェクト会議の重点取組事項の達成 90%		3	・東海小や浦城小との交流学习を行うことができ、大人数での学習に意欲的に取り組むことができた。 ・東海地区学力向上プロジェクト会議ではキャリア教育についての研修を行い、幼保小連携会議では、幼稚園、保育園と児童理解について協議を行うことができた。	3